

No.	19
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和6年6月

水田農業高収益化推進計画

富山県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

水田率が全国一高い富山県では、米を主体とした水田農業が営まれており、米政策の見直し後も、引き続き、「需要に応じた米生産」と「水田フル活用」の推進により、農業の成長産業化と農業経営の安定化を図っている。特に、農業所得の増大には、「水田フル活用」による“収益性の高い園芸作物等の拡大・産地化”が重要であり、現状では、県内の水田53,500haのうち、野菜・果樹等の園芸作物により約4,000ha、ハトムギにより約400haの水田が、高収益作物等の生産に活用されている。

今後も引き続き、高収益作物等の生産拡大・産地化を推進するため、作物別の生産方針を参考に、全農とやまや各JA等が中心となって進める産地化の取組みに対し、県や関係機関（県土連、農業委員会等）が連携して指導・助言を行い、一体的に取組みを推進する。

<園芸作物等>

水田での主食用米からの高収益作物などへの転換が喫緊の課題であることから、栽培の機械化一貫体系が確立しており、大規模生産が可能で安定した収入が見込める作物を「水田園芸拡大品目」として、規模拡大を図る。また、果樹・花き・施設園芸など面積当たりの収入が高い作物を、土地の確保が困難となりやすい新規参入者等を中心に生産振興を図る。

「水田園芸拡大品目」：たまねぎ、にんじん、さといも、キャベツ

「果樹重点推進品目」（富山県園芸振興推進協議会）

比較的小規模ながらも、高収益が見込める果樹の積極的な導入を図る。：ぶどう

「施設園芸」

農地の集積が困難で、経営規模が小さくなる傾向の認められる新規就農者において、規模が比較的小さくても収入が見込める施設園芸のうち、実需の要望の高いトマトについて経営モデルを示しながら推進を図る。

「園芸産地プラン策定品目」：こまつな、ほうれんそう、アスパラガス、ブロッコリー

市町村が産地の特性や意向を踏まえて目指すべき目標を定めた「稼げる！園芸産地プラン」に基づき、稼げる経営体の育成や園芸産地の拡大強化を図る。

<子実用とうもろこし>

飼料自給率向上の観点から、県西部を中心とした養鶏農家等との連携により、団地化や堆肥の利用、家畜への給与方法の検討等、モデル的な取組事例を構築し、推進を図る。

2. 目標

(1) 推進方針

・富山県では、水田における園芸団地等産地拡大を推進するため、関係機関が連携して各市町村で「稼げる！園芸産地プラン」を策定し、産地の目標達成に向けた生産から販売までの一 体的な取り組みを支援する。
・産地数、販売額目標として、にんじんは11産地で約2.0億円（対H30年度比で1.5億円増）、たまねぎは8産地で7.8億円（対H30年度比で3.9億円増）、ぶどうは1産地で460万円を目指すことと し、排水対策の徹底、選別場の共同利用や有利販売先の確保などの取組を推進することで、生産性向上や所得の向上を図る。
・また、富山県で古くから産地のある白ねぎ、さといも、トマトにおいて、高齢化等による担い手不足を解消するため、機械の貸し出し、出荷調整の受託、研修ハウスの創設を通して、新規栽 培者の確保と栽培面積増を図る。
・こまつな、ほうれんそう、アスパラガス、ブロッコリーは、各市町村で策定した「稼げる！園芸産地プラン」に基づき、新規生産者の確保や出荷量の拡大を図る。
・子実用とうもろこしについては、県西部を中心とした養鶏農家等との連携により、モデル的な取組事例を構築し、推進を図る。
・地域段階での水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置等を推進し、更なる産地の創出し、令和8年度を目標に栽培面積3100ha、園芸産出額140億円を目指す。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用／加工・ 業務用	露地	県の1億円産地づくりの県域の推進品目として設定 している広域産地形成品目のにんじんについて富山 県にんじん出荷協議会(事務局:全農とやま)を設立 し、会員である各JAが主体となって推進している。ま た、市場・加工業務業者などの実需者と連携し、出 荷先を確保しつつ、需給バランスに配慮した適正な ロットの出荷を実現するため共同出荷の取組を実施 しているため	43 ha (平成30年)	94 ha (令和6年)	1,131 ^{kg/} _{10a} (平成30年)	2,508 ^{kg/} _{10a} (令和6年)	46,438,752 円 (平成30年)	196,497,000 円 (令和6年)		
たまねぎ	生食用／加工・ 業務用	露地	県の1億円産地づくりの県域の推進品目として設定 している広域産地形成品目のたまねぎについて富山 県たまねぎ出荷協議会(事務局:全農とやま)を設立 し、会員である各JAが主体となって推進している。ま た、市場・加工業務業者などの実需者と連携し、出 荷先を確保しつつ、需給バランスに配慮した適正な ロットの出荷を実現するため共同出荷の取組を実施 しているため	190 ha (平成30年)	262 ha (令和6年)	3,315 ^{kg/} _{10a} (平成30年)	4,975 ^{kg/} _{10a} (令和6年)	389,634,772 円 (平成30年)	782,772,291 円 (令和6年)		
さといも	生食用	露地	本県の代表的な野菜品目で、実需の要望が高いさと いもについて富山地区野菜出荷協議会(事務局:全 農とやま)を設立し、会員である各JAが主体となって 推進している。また、市場などの実需者と連携し、出 荷先を確保しつつ、需給バランスに配慮した適正な ロットの出荷を実現するため共同出荷の取組を実施 しているため	0.1 ha (令和元年)	1.5 ha (令和6年)	892 ^{kg/} _{10a} (令和元年)	1,000 ^{kg/} _{10a} (令和6年)	267,000 円 (令和元年)	4,500,000 円 (令和6年)		

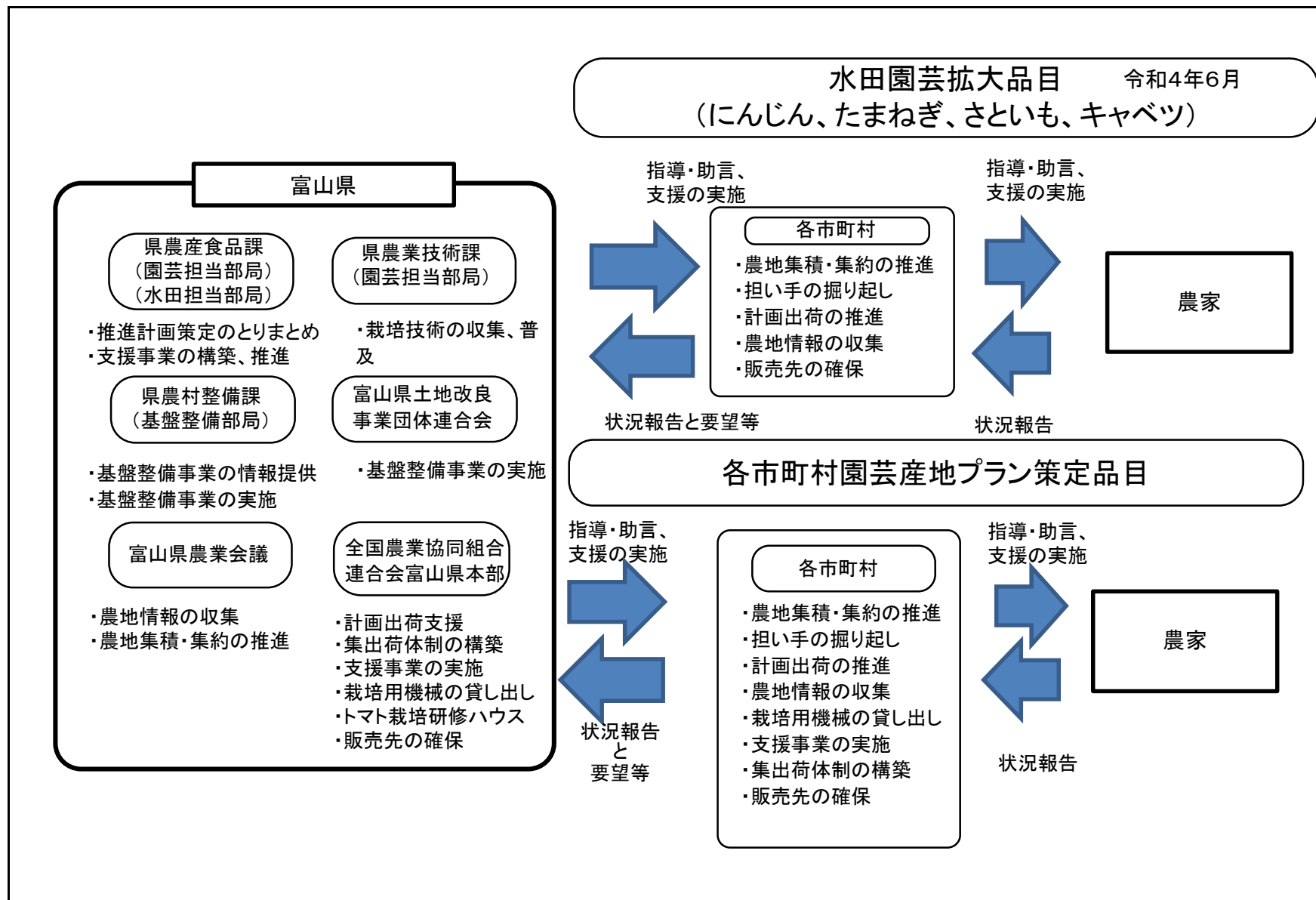
2. 目標

トマト	生食用	施設	本県の代表的な野菜品目で、実需の要望が高いトマトについて富山地域野菜出荷協議会(事務局:全農とやま)を設立し、会員である各JAが主体となって推進している。また、市場などの実需者と連携し、出荷先を確保しつつ、需給バランスに配慮した適正なロットの出荷を実現するため共同出荷の取組みを実施しているため	0.7 ha (令和元年)	2.7 ha (令和6年)	3,220 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和元年)	10,000 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和6年)	16,197,000 円 (令和元年)	53,400,000 円 (令和6年)		
ねぎ	生食用	露地	本県の代表的な野菜品目で、実需の要望が高いねぎについて富山地域野菜出荷協議会(事務局:全農とやま)を設立し、会員である各JAが主体となって推進している。また、市場などの実需者と連携し、出荷先を確保しつつ、需給バランスに配慮した適正なロットの出荷を実現するため共同出荷の取組みを実施しているため	4.2 ha (令和元年)	7.8 ha (令和6年)	1,267 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和元年)	2,000 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和6年)	16,326,000 円 (令和元年)	46,800,000 円 (令和6年)		
ばれいしょ	生食用/加工・業務用	露地	県の1億円産地づくりの県域の推進品目として設定している広域産地形成品目のばれいしょについて富山地域野菜出荷協議会(事務局:全農とやま)を設立し、会員である各JAが主体となって推進している。また、市場・加工業者などの実需者と連携し、出荷先を確保しつつ、需給バランスに配慮した適正なロットの出荷を実現するため共同出荷の取組みを実施しているため	5.1 ha (令和元年)	10.3 ha (令和6年)	1,674 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和元年)	3,000 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和6年)	6,452,638 円 (令和元年)	23,175,000 円 (令和6年)		
こまつな	生食用	施設	本県の代表的な品目で、富山県施設こまつな研究会(事務局:全農とやま)を設立し、会員である各JAが主体となって推進している。また、市場などの実需者と連携し、出荷先を確保しつつ、需給バランスに配慮した適正なロットの出荷を実現するため共同出荷の取組みを実施しているため	1.98 ha (令和5年)	2.2 ha (令和10年)	7,215 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和5年)	8,641 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和10年)	56,275,708 円 (令和5年)	74,492,500 円 (令和10年)		
ほうれんそう	生食用	施設	本県の代表的な品目で、特に県西部ではJAが主体となって推進している。また、市場などの実需者と連携し、出荷先を確保しつつ、需給バランスに配慮した適正なロットの出荷を実現するため共同出荷の取組みを実施しているため	0.04 ha (令和5年)	0.3 ha (令和10年)	1,264 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和5年)	1,443 $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ (令和10年)	261,731 円 (令和5年)	2,600,000 円 (令和10年)		

2. 目標

アスパラガス	生食用	露地 施設	県西部では、「稼げる！園芸産地プラン」を作成し産地として新規生産者の掘り起こし等推進を図っている。また、長期安定出荷のため、露地および施設での作付けや複数作型の導入などの取組みを実施しているため	0.7 ha (令和5年)	0.8 ha (令和10年)	88 ^{kg/} _{10a} (令和5年)	139 ^{kg/} _{10a} (令和10年)	805,533 円 (令和5年)	1,406,600 円 (令和10年)		
ブロッコリー	生食用	露地	県西部では「稼げる！園芸産地プラン」を作成し産地として稼げる経営体の育成や園芸産地の拡大強化を図っている。また、実需者のニーズ把握に基づく出荷や、病害対策による収量・品質の向上に向けた取組みを実施しているため	0.3 ha (令和5年)	0.6 ha (令和10年)	251 ^{kg/} _{10a} (令和5年)	260 ^{kg/} _{10a} (令和10年)	230,644 円 (令和5年)	530,400 円 (令和10年)		
ぶどう	加工・業務用	露地	県の果樹重点推進品目として設定しているぶどうについて、近年、若手生産者が増え始めており、また、法人等による企業的な醸造用ぶどうの経営が複数出現している。また、富山県や全農が主体となって「ぶどう生産振興プロジェクトチーム」を発足し、県全体のぶどうの生産拡大と定着を図っているため	0 ha (令和3年)	1.93 ha (令和8年)	0 ^{kg/} _{10a} (令和3年)	600 ^{kg/} _{10a} (令和8年)	0 円 (令和3年)	4,632,000 円 (令和8年)		
子実用とうもろこし	飼料用	露地	県西部を中心とした養鶏農家等から、濃厚飼料としての子実用とうもろこしの需要があり、耕畜連携による堆肥の有効利用、飼料自給率の向上等が期待できるため	0 ha (令和3年)	37.1 ha (令和10年)	0 ^{kg/} _{10a} (令和3年)	619 ^{kg/} _{10a} (令和10年)	0 円 (令和3年)	6,794,900 円 (令和10年)		

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

品目ごとに協議会(事務局:全農とやま)を設立し、全農とやまや各JA保有の栽培用機械(移植機、収穫機等)の貸し出しや共同選別場利用を促進し、初期投資軽減による新規生産者の掘り起しを図る。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
にんじん	・協議会所有機械の活用による作付面積拡大。 ・作型拡大による大規模作付生産者の育成 ・主穀作経営体の複合経営推進による新規生産者の掘り起し	・ほ場選定や明暗渠設置による排水対策 ・スプリンクラー導入促進による発芽率の向上 ・産地ごとの巡回等によるきめの細かい指導の実施	・作期の前進化による有利販売できる販路の確保 ・予冷の徹底による鮮度保持の実施 ・契約取引量の遵守による有利販売先の確保	
たまねぎ	・協議会所有機械の活用による作付面積拡大。 ・作型拡大による大規模作付生産者の育成 ・主穀作経営体の複合経営推進による新規生産者の掘り起し	・ほ場選定や明暗渠設置による排水対策 ・適切な灌水・気温管理による苗質の向上 ・産地ごとの巡回等によるきめの細かい指導の実施	・長期出荷による有利販売できる販路の確保 ・契約取引量の遵守による有利販売先の確保	
さといも	・協議会所有機械の活用による作付面積拡大。 ・作型拡大による大規模作付生産者の育成 ・主穀作経営体の複合経営推進による新規生産者の掘り起し	・適正な植え付け深さの確保による肥大促進 ・畝間かん水の実施による地上部生育量の確保と品質向上 ・巡回・研修棟による指導の実施	・実需要望の高い時期の販売 ・契約取引量の遵守による有利販売先の確保	
トマト	・協議会所有機械の活用による規模拡大 ・研修施設における新規生産者の掘り起し	・新作型導入による、年2作の推進 ・研修施設における濃密指導での早期技術習得	・新作型導入による高単価時期の出荷 ・契約販売による有利販売先の確保	
ねぎ	・協議会所有機械の活用による作付面積拡大。 ・作型拡大による大規模作付生産者の育成 ・主穀作経営体の複合経営推進による新規生産者の掘り起し	・排水条件や病害・雑草の発生状況を重視した圃場選定 ・健苗育成による初期成育の確保 ・作型に応じた全量基肥の溶出タイプ選定 ・巡回・研修等による指導の実施	・実需要望の高い時期の販売 ・契約取引量の遵守による有利販売先の確保	
ばれいしょ	・協議会所有機械の活用による作付面積拡大。 ・作型拡大による大規模作付生産者の育成 ・主穀作経営体の複合経営推進による新規生産者の掘り起し	・品種に応じた栽植数確保と基肥施用 ・浴光育芽の実施による初期成育の確保 ・適期植え付けによる生育量の確保 ・巡回・研修等による指導の実施	・実需要望の高い品種の導入 ・契約取引量の遵守による有利販売先の確保	
こまつな	・人員確保によるハウス回転数の増加 ・研修制度を活用した新規生産者の確保	・夏季の発芽率向上のための品種探索と遮光ネットの被覆期間の延長等の導入支援 ・土壌診断に基づく適正施肥指導 ・時期別優良品種の選定、導入推進	・県内外でのPR販売の実施 ・ハウス回転数の向上による出荷量の増加 ・イベント販売等のPR活動	

4. 目標達成に向けた取組

ほうれんそう	・研修制度を活用した新規生産者の確保	・時期別の品種選定、導入推進 ・気温上昇抑制効果が高い遮光資材の選定、導入推進 ・ホウレンソウケナガコナダニ等難防除病害虫も効果的な対策の実証、普及	・夏季の収穫後速やかな予冷による品質向上 ・イベント販売等のPR活動	
アスパラガス	・個別訪問による新規生産者の掘り起こし ・1年養成株春1期どり栽培の推進	・新規生産者の安定生産に向けた病害虫対策の徹底指導 ・土壌水分に応じたかん水管理技術の確立・普及 ・技術向上に向けた栽培講習会の開催支援 ・夏どり立茎栽培の導入推進	・規格外品の加工業者への販売	
ブロッコリー	・個別訪問による新規生産者の掘り起こし	・黒すす病対策等、効果的な病害虫対策の実証、普及 ・技術向上に向けた栽培講習会の開催支援	・実需者のニーズの対応できる出荷体制の検討 ・病害対策による製品率の向上	
ぶどう	・ぶどう導入啓発研修会等や指導員等の呼び掛けによる新規生産者の掘り起こし ・短梢栽培等省力樹形の推進 ・主穀作経営体、既存園芸生産者の複合経営推進	・優良品種の植え付け ・苗木の生育量確保 ・樹勢適正化及び適期作業による結実安定 ・巡回・研修等による指導の実施	・実需要望の高い品種の導入 ・高品質果実栽培技術の徹底	
子実用とうもろこし	・主穀作経営体による複合経営の推進 ・ドローン等のスマート農業の導入による作業の省力化	・団地化による作業の効率化や病害虫の発生防止 ・耕畜連携による堆肥利用 ・排水対策の徹底	・収量向上による安定供給の確保 ・地域流通を活かしたブランド化	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	みな穂農業協同組合	朝日町、入善町	
2	黒部市農業協同組合	黒部市	
3	アルプス農業協同組合	滑川市、上市町、舟橋村、立山町	
4	あおば農業協同組合	富山市	
5	富山市農業協同組合	富山市	
6	なのはな農業協同組合	富山市	
7	いみず野農業協同組合	射水市	
8	高岡市農業協同組合	高岡市	
9	氷見市農業協同組合	氷見市	
10	となみ野農業協同組合	砺波市、南砺市	
11	いなば農業協同組合	高岡市、小矢部市	
12	福光農業協同組合	南砺市	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

No.	19-001
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
JAみな穂産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	みな穂農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	新川農林振興センター 朝日町・入善町 みな穂農協 朝日町農業委員会 入善町農業委員会 朝日町土地改良区 入善土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	みな穂農協	0.47 ha (平成30年)	2.3 ha (令和5年)	1,257 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和5年)	567,360 円 (平成30年)	4,830,000 円 (令和5年)		
たまねぎ	加工・業務用	露地	みな穂農協	0 ha (平成30年)	2 ha (令和5年)	0 kg/10a (平成30年)	5,000 kg/10a (令和5年)	0 円 (平成30年)	6,000,000 円 (令和5年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	19-002
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和6年6月

水田農業高収益化推進計画
JAくろべ産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	黒部市農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	新川農林振興センター 黒部市 黒部市農協 黒部市農業委員会 黒部川左岸土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	黒部市農協	1.5 ha (平成30年)	2.4 ha (令和5年)	339 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和5年)	488,640 円 (平成30年)	5,040,000 円 (令和5年)		
子実とうもろこし	飼料用	露地	黒部市農協	2.6 ha (令和5年)	7.1 ha (令和10年)	496 kg/10a (令和5年)	700 kg/10a (令和10年)	382,590 円 (令和5年)	494,900 円 (令和10年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	19-003
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和3年1月

水田農業高収益化推進計画
J A アルプス産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	アルプス農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	富山農林振興センター 立山町・上市町・滑川市・舟橋村 アルプス農協 滑川市農業委員会 上市町農業委員会 上条用水土地改良区 滑川中部土地改良区 上市町土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ⇓ 農家 ⇑

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
たまねぎ	加工・業務用	露地	アルプス農協	0 ha (平成30年)	4 ha (令和5年)	0 kg/10a (平成30年)	5,000 kg/10a (令和5年)	0 円 (平成30年)	12,000,000 円 (令和5年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	19-004
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和3年1月

水田農業高収益化推進計画
JAあおば産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	あおば農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	富山農林振興センター 富山市 あおば農協 富山市農業委員会 婦負郡藤ヶ池土地改良区 久婦須川土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	あおば農協	7.0 ha (平成30年)	18 ha (令和6年)	1,828 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和6年)	12,320,640 円 (平成30年)	37,800,000 円 (令和6年)		
たまねぎ	加工・業務用	露地	あおば農協	0.0 ha (平成30年)	2.5 ha (令和5年)	0 kg/10a (平成30年)	5,000 kg/10a (令和5年)	0 円 (平成30年)	7,500,000 円 (令和5年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	19-005
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和3年1月

水田農業高収益化推進計画
JA富山市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	富山市農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	富山農林振興センター 富山市 富山市農協 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	富山市農協	1.2 ha (平成30年)	1.5 ha (令和5年)	1,130 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和5年)	1,301,760 円 (平成30年)	3,150,000 円 (令和5年)		
さといも	生食用	露地	富山市農協	0.0 ha (令和元年)	1.2 ha (令和6年)	- kg/10a (令和元年)	1,000 kg/10a (令和6年)	- 円 (令和元年)	3,600,000 円 (令和6年)		
トマト	生食用	施設	富山市農協	0.5 ha (令和元年)	1.6 ha (令和6年)	3,000 kg/10a (令和元年)	10,000 kg/10a (令和6年)	12,690,000 円 (令和元年)	31,400,000 円 (令和6年)		
ねぎ	生食用	露地	富山市農協	0.1 ha (令和元年)	1.1 ha (令和6年)	1,200 kg/10a (令和元年)	2,000 kg/10a (令和6年)	336,000 円 (令和元年)	6,600,000 円 (令和6年)		
ばれいしょ	生食用/ 加工・業務用	露地	富山市農協	5.1 ha (令和元年)	10.3 ha (令和6年)	1,674 kg/10a (令和元年)	3,000 kg/10a (令和6年)	6,452,638 円 (令和元年)	23,175,000 円 (令和6年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	19-006
策定年月	令和 2 年 4 月
見直し年月	令和 3 年 1 月

水田農業高収益化推進計画
ＪＡなのはな産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	なのはな農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	富山農林振興センター 富山市 なのはな農協 富山市農業委員会 上条用水土地改良区 下条用水土地改良区 水橋三郷土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用／加工・業務用	露地	なのはな農協	0.5 ha (平成30年)	14.1 ha (令和 6 年)	0 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和 6 年)	0 円 (平成30年)	29,610,000 円 (令和 6 年)		
たまねぎ	加工・業務用	露地	なのはな農協	0.0 ha (平成30年)	2.9 ha (令和 6 年)	0 kg/10a (平成30年)	5,000 kg/10a (令和 6 年)	0 円 (平成30年)	8,700,000 円 (令和 6 年)		
さといも	生食用	露地	なのはな農協	0.1 ha (令和元年)	0.3 ha (令和 6 年)	892 kg/10a (令和元年)	1,000 kg/10a (令和 6 年)	267,600 円 (令和元年)	900,000 円 (令和 6 年)		
トマト	生食用	施設	なのはな農協	0.2 ha (令和元年)	1.1 ha (令和 6 年)	3,772 kg/10a (令和元年)	10,000 kg/10a (令和 6 年)	3,507,000 円 (令和元年)	22,000,000 円 (令和 6 年)		
ねぎ	生食用	露地	なのはな農協	4.1 ha (令和元年)	6.7 ha (令和 6 年)	1,300 kg/10a (令和元年)	2,000 kg/10a (令和 6 年)	15,990,000 円 (令和元年)	40,200,000 円 (令和 6 年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	19-007
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和6年6月

水田農業高収益化推進計画
JAいみず野産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	いみず野農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	高岡農林振興センター 射水市 いみず野農協 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	いみず野農協	1.12 ha (平成30年)	1.2 ha (令和5年)	1,478 kg/10a (平成30年)	3,000 kg/10a (令和5年)	1,589,472 円 (平成30年)	3,024,000 円 (令和5年)	(令和〇年)	(令和〇年)
こまつな	生食用	施設	いみず野農協	1.98 ha (令和5年)	2.1 ha (令和10年)	7,215 kg/10a (令和5年)	8,900 kg/10a (令和10年)	56,275,708 円 (令和5年)	73,453,000 円 (令和10年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	19-008
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和6年6月

水田農業高収益化推進計画
JA高岡産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	高岡市農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	高岡農林振興センター 高岡市 高岡市農協 高岡市農業委員会 高岡市土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値※2	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	高岡市農協	8.7 ha (平成30年)	12.9 ha (令和5年)	697 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和5年)	5,800,320 円 (平成30年)	27,153,000 円 (令和5年)	(令和〇年)	(令和〇年)
たまねぎ	加工・業務用	露地	高岡市農協	0.0 ha (平成30年)	1.0 ha (令和5年)	0 kg/10a (平成30年)	5,000 kg/10a (令和5年)	0 円 (平成30年)	3,000,000 円 (令和5年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ほうれんそう	生食用	施設	高岡市農協	0.04 ha (令和5年)	0.3 ha (令和10年)	1,264 kg/10a (令和5年)	1,443 kg/10a (令和10年)	261,731 円 (令和5年)	2,600,000 円 (令和10年)	(令和5年)	(令和10年)
こまつな	生食用	施設	高岡市農協	0.00 ha (令和5年)	0.206 ha (令和10年)	0 kg/10a (令和5年)	1,602 kg/10a (令和10年)	0 円 (令和5年)	1,039,500 円 (令和10年)	(令和5年)	(令和10年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	19-009
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和4年5月

水田農業高収益化推進計画
J A 氷見市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	氷見市農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	高岡農林振興センター 氷見市 氷見市農協 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	氷見市農協	0.65 ha (平成30年)	2.5 ha (令和5年)	323 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和5年)	201,600 円 (平成30年)	5,250,000 円 (令和5年)		
ぶどう	加工・業務用	露地	氷見市農協	0 ha (令和3年)	1.93 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	600 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	4,632,000 円 (令和8年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	19-010
策定年月	令和2年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
JAとなみ野産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	となみ野農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	砺波農林振興センター ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 砺波市・南砺市 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 となみ野農協 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 砺波市農業委員会 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 砺波市土地改良区 南砺市土地改良区 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理  農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	となみ野農協	18.2 ha (平成30年)	26.0 ha (令和5年)	1,297 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和5年)	22,597,440 円 (平成30年)	54,600,000 円 (令和5年)		
たまねぎ	加工・業務用	露地	となみ野農協	189.0 ha (平成30年)	246.0 ha (令和5年)	3,307 kg/10a (平成30年)	4,972 kg/10a (令和5年)	386,285,872 円 (平成30年)	735,072,291 円 (令和5年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	19-011
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和4年5月

水田農業高収益化推進計画
JAいなば産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	いなば農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	高岡農林振興センター 小矢部市・高岡市 いなば農協 高岡市農業委員会 小矢部市農業委員会 福岡町土地改良区 小矢部市土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	いなば農協	2.76 ha (平成30年)	3.3 ha (令和5年)	227 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和5年)	601,920 円 (平成30年)	6,930,000 円 (令和5年)		
たまねぎ	加工・業務用	露地	いなば農協	0 ha (平成30年)	1.5 ha (令和5年)	0 kg/10a (平成30年)	5,000 kg/10a (令和5年)	0 円 (平成30年)	4,500,000 円 (令和5年)		
子実用とうもろこし	飼料用	露地	いなば農協	0 ha (令和3年)	30.0 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	600 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	6,300,000 円 (令和8年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	19-012
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和6年6月

水田農業高収益化推進計画
J A 福光産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	福光農業協同組合
構成機関・団体名及び役割分担	砺波農林振興センター 南砺市 福光農協 南砺市農業委員会 南砺市土地改良区 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ⇓ 農家 ⇑

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
にんじん	生食用	露地	福光農協	0.7 ha (平成30年)	9.5 ha (令和6年)	1,443 kg/10a (平成30年)	2,500 kg/10a (令和6年)	969,600 円 (平成30年)	19,950,000 円 (令和6年)	(令和〇年)	(令和〇年)
たまねぎ	加工・業務用	露地	福光農協	1.2 ha (平成30年)	2.0 ha (令和5年)	4,575 kg/10a (平成30年)	5,000 kg/10a (令和5年)	3,348,900 円 (平成30年)	6,000,000 円 (令和5年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ブロッコリー	生食用	露地	福光農協	0.3 ha (令和5年)	0.6 ha (令和10年)	251 kg/10a (令和5年)	260 kg/10a (令和10年)	230,644 円 (令和5年)	530,400 円 (令和10年)	(令和〇年)	(令和〇年)
アスパラガス	生食用	露地施設	福光農協	0.7 ha (令和5年)	0.8 ha (令和10年)	88 kg/10a (令和5年)	139 kg/10a (令和10年)	805,533 円 (令和5年)	1,406,600 円 (令和10年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。